各部の名称とはたらき

各部の名称とはたらきを説明します。

① POWER ランプ(緑)	点灯：AC アダプタ接続時	消灯：AC アダプタ未接続
② WIRELESS ランプ(緑)	点灯：無線 LAN 接続時	点滅：無線 LAN 通信中
③ LAN ランプ(緑)	点灯：有線 LAN 接続時	点滅：有線 LAN 通信中
④ USB ランプ(緑)	点灯：印刷可能時	点滅：印刷中
⑤ DIAG ランプ(赤)	点灯：起動中 (起動後は消灯します)	点滅：ファームウェア更新時

※ファームウェア更新中は、絶対に AC アダプタをコンセントから抜かないでください。

⑥ AOSS ランプ(橙)　ランプの点滅状態により、無線プリントサーバの状態を示します。
※無線プリントサーバの電源を投入した際にも、しばらく点灯します。

点滅状態	内　容
点灯（橙）	セキュリティ交換処理が成功し、運用中（AOSS 成功）
2回点滅（橙）	無線親機とセキュリティキー交換処理を行える状態（AOSS 待機中）
点滅（橙）	セキュリティ交換処理に失敗（AOSS 失敗）

⑦ AOSS ボタン　電源ON 時に、AOSSランプが橙色点灯するまで(約3秒間)スイッチを押すと、無線親機とセキュリティキー交換処理を行える状態(AOSS 動作状態)になります。

⑧ MAC アドレス　本製品のMACアドレスが記載されています。(12桁の値)

⑨ アンテナコネクタ　付属のアンテナを接続します。

⑩ INIT (設定初期化スイッチ)　電源を入れた状態で、前面パネルにあるDIAGランプが赤色点灯するまで(約3秒間)スイッチを押し続ける※と、設定が初期化されます。
※ 3秒以内にスイッチを離すと、本製品は再起動します。その場合、初期化はされません。

⑪ USB ポート　USB接続可能なプリンタを接続します。

⑫ LAN ポート　有線LAN接続可能なパソコンを接続します。

⑬ DC コネクタ　付属のACアダプタを接続します。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線親機間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、通信内容を盗み見られる/不正に侵入されるなどの可能性があります。
BUFFALOの無線LANセキュリティに対する取り組みについては、「LPV3シリーズユーティリティCD」内の「セキュリティに関するご注意」をご覧ください。

■電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、本製品を使用しないでください。
  電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近く(環境により電波が届かない場合があります。)
- 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  ・本製品を分解／改造すること
  ・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
  ・産業・科学・医療用機器
  ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
  ①構内無線局(免許を要する無線局)
  ②特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- 本製品を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
  1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
  3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS 方式 /OFDM 方式
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

仕様

※最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

製品仕様

無線 LAN インターフェース	準拠規格	IEEE802.11g / IEEE802.11b(無線 LAN 標準プロトコル) ARIB STD-66（小電力データ通信システム規格）
	伝送方式	直接拡散型スペクトラム拡散（DS-SS）方式 直交周波数分割多重変調（OFDM）方式 相補符号変調（CCK）方式 単信（半二重）
	データ伝送速度(オートセンス)	6/9/12/18/24/36/48/54Mbps（IEEE802.11g） 1/2/5.5/11Mbps（IEEE802.11b）
	アクセス方式	インフラストラクチャモード
	周波数範囲(中心周波数)	2412 ～ 2472MHz（全 13 チャンネル） ※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が 2.4GHz 帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。
	セキュリティ	AOSS、WPA-PSK(TKIP)※、128(104)/64(40)bit WEP、設定画面パスワード
プリンタインターフェース	規格	USB Revision 2.0
	コネクタ	USB A コネクタ ×1
消費電力 / 消費電流	最大 2.6W(DC5V) / 最大 520mA	
動作温度 / 湿度	温度：0 ～ 40℃　　湿度：20 ～ 80%（結露なきこと）	
外形寸法 / 重量	125(W)×30(H)×86(D)mm / 165g（本体のみ）	

※ 弊社製 WBR-B11 と本製品を無線で接続する場合、WBR-B11 の無線暗号化設定が TKIP に設定されていると本製品と接続できません。事前に WEP に設定変更してから、本製品を接続してください。

対応プロトコル /OS

プロトコル	OS
TCP/IP	Windows Vista(32bit)/XP/Me/2000/98/95/NT4.0、MacOS X 10.0.4 ～ 10.3.9、UNIX
NetBEUI	Windows 2000/Me/98/95/NT4.0
AppleTalk(Ether Talk)	MacOS 8.6、MacOS 9.0.4 以降
Bonjour	MacOS X 10.4.0 以降
Rendezvous	MacOS X 10.2.0 ～ 10.3.9
IPP	Windows Vista(32bit)/XP/2000

※付属ソフト「LPV3 マネージャ」は、MacOS および UNIX には対応していません。

対応プリンタ

USB2.0/USB1.1 に対応したプリンタ。

※プリンタは、1 台だけ接続できます。
※USB パラレル変換ケーブルを使用して、プリンタを接続することはできません。
※Macintosh で使用する場合は、PostScript プリンタのみ対応です。
※Canon 製レーザープリンタには対応していません。
※双方向通信のみ対応のプリンタ、WPS（Windows Printing System）プリンタには対応していません。
※インク残量などを通知するプリンタ付属のユーティリティは使用できません。
※複合機能搭載プリンタを接続した場合、プリンタ機能のみ使用できます。その他の機能（スキャナ、カードリーダー、FAX など）を使用することはできません。

主な出荷時設定値

設定項目			出荷時設定値
基本設定	パス		¥¥PU-xxxxxx¥P1
	プリントサーバ名		PU-xxxxxx
	管理ユーザ名		root
	管理パスワード		未設定
	ポート名		P1
無線設定	SSID		未設定
	暗号化		暗号化なし
プロトコル設定	TCP/IP	IP アドレス	自動取得
	AppleTalk	AppleTalkZone	*
		プリンタオブジェクト	LaserWriter
		PostScript レベル	Level2
		フォントグループ	Standard35
	NETBEUI	ワークグループ	WORKGROUP
	SNMP	SysContact 名	未設定
		SysLocation 名	未設定
		コミュニティ名	public
		アクセス権限	Read/Write

※xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁です。MAC アドレスは、本製品に貼り付けられています。

簡単設定ガイド
2007 年 12 月 28 日 第 5 版 発行 株式会社バッファロー

BUFFALO　35004502 ver.05 5-01 C10-012

LPV3-U2-G54 マニュアル　簡単設定ガイド

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

はじめに

本紙では、ネットワーク上の Windows Vista/XP/Me/2000/98/95/NT4.0 搭載パソコンから、本製品に接続されたプリンタに印刷する方法を説明します。

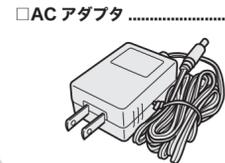
※MacOS や UNIX を搭載したパソコンで本製品の設定や印刷をする場合は、付属 CD に収録されている電子マニュアルを参照してください（裏面「電子マニュアルの読み方」参照）。
※本紙では、NBT（NetBIOS over TCP/IP）プロトコルを使って印刷する方法を説明しています。LPR（TCP/IP）/ NetBEUI / AppleTalk プロトコルを使って印刷する場合は、電子マニュアルを参照してください。
※本製品を使用する前に、ネットワーク上のパソコン間で正常に通信できることを確認してください。各ネットワーク機器（LAN アダプタ、ルータや無線親機など）の使い方については、各機器のマニュアルを参照してください。

無線プリントサーバを使えるようにしよう

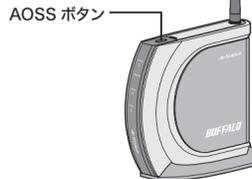
ステップ1 箱に入っているものを確認しよう

万がいち、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- □無線プリントサーバ（本体）............1個
- □LPV3 シリーズユーティリティ CD...1枚

- □アンテナ 1本
- □縦置き用スタンド 1個
- □横置き用ゴム足 4個
- □USB ケーブル 1本
- □AC アダプタ 1個
- □簡単設定ガイド(本紙)..................... 1枚
- □安全にお使いいただくために必ずお読みください(保証書付き).......... 1枚

※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

ステップ2 接続する親機を確認しよう

接続する無線親機がAOSS™に対応しているか確認してください。無線親機にAOSSボタンがある場合は、AOSSに対応しています。

※AOSS ボタンがなくても、AOSS に対応している無線親機もあります。エアステーションをお使いの方は、弊社ホームページ（buffalo.jp）をご覧ください。

AOSS に対応した無線親機をお使いの場合

WHR-HP-G/WHR-G/WZR/WHR-G54S/WHR-HP-G54 シリーズなどをお使いの場合
⇒本紙ステップ 3 以降を参照してセットアップをおこなってください。

AOSS に対応していない無線親機をお使いの場合、または本製品を有線接続で使用する場合

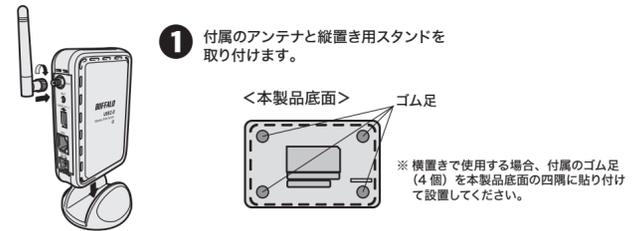
WBR/WYR シリーズ、他社製無線親機などをお使いの場合や本製品に LAN ケーブルを接続して使用する場合
⇒付属 CD に収録されている電子マニュアル「第1章 ご使用になる前に」の「本製品の接続（有線）」および「本製品の接続（無線）」を参照してセットアップをおこなってください。

電子マニュアルを読むには

裏面の「電子マニュアルの読み方」を参照してください。

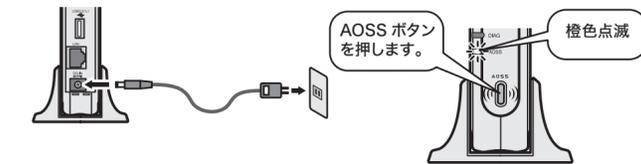
ステップ 3 へつづく

ステップ3 無線プリントサーバを取りつけよう

※ 弊社製 WBR-B11 をお使いの場合、WBR-B11 の無線暗号化設定が TKIP に設定されていると本製品と接続できません。事前に WEP に設定変更してから、下記の手順を行ってください。

❶ 付属のアンテナと縦置き用スタンドを取り付けます。

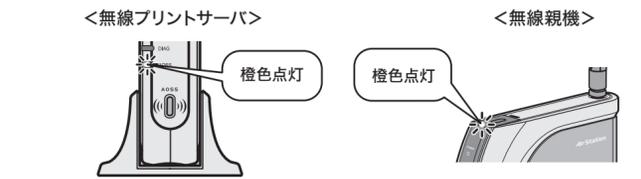
※ 横置きで使用する場合、付属のゴム足（4 個）を本製品底面の四隅に貼り付けて設置してください。

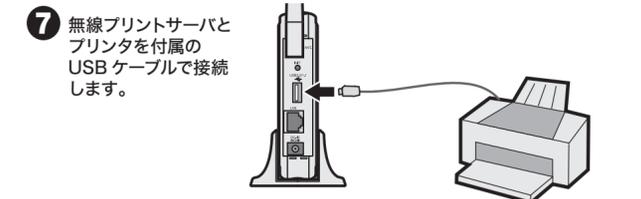
❷ 無線プリントサーバと家庭用コンセントを付属の AC アダプタで接続します。

❸ AOSS ランプが点滅するまで（約 3 秒間）、無線プリントサーバの電源を入れた状態で AOSS ボタンを押します。

❹ AOSS ランプが点滅するまで（約 3 秒間）、無線親機の電源を入れた状態で AOSS ボタンを押します。

AOSS ボタン・AOSS ランプの位置や仕様に関しては、無線親機によって異なります。お使いの無線親機のマニュアルを参照して、AOSS ボタン・AOSS ランプの位置と仕様を確認しておいてください。

❺ 自動的に無線親機が検索されて、設定がおこなわれます。

❻ 無線プリントサーバと無線親機の AOSS ランプが点灯したら、接続は完了です。

メモ
無線親機に正しく接続されなかった場合、無線親機の AOSS ランプが2回点滅から点滅に変わります。その場合は、再度手順 ❸ から実行してください。

❼ 無線プリントサーバとプリンタを付属の USB ケーブルで接続します。

❽ プリンタの電源を ON にします。
電源が ON になっていた場合は、一度電源を OFF→ON にしてください。

以上で無線プリントサーバへの接続は完了です。

ステップ 4 へつづく

ステップ4 LPV3 マネージャをインストールしよう

無線プリントサーバの設定・管理をおこなうパソコンにだけ、付属の「LPV3 マネージャ」をインストールします（すべてのパソコンにインストールする必要はありません）。

❶ 添付のCD-ROM(LPV3シリーズユーティリティCD)をパソコンにセットします。しばらくすると、LPV3シリーズユーティリティが起動します。
※Windows Vistaでは、添付のCD-ROMセット時に「自動再生」画面が表示されたら、「LAUNCHER.exeの実行」を選択してください。また、「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

❷
1 「LPV3マネージャをインストールする」を選択します。
※本製品では、「LPV3ダイレクト接続マネージャ」は使用しません。

2 [実行]をクリックします。

❸ 「LPV3マネージャのインストールを開始します」と表示されたら、[次へ]をクリックします。

❹ 「ソフトウェア使用許諾契約」画面が表示されたら、内容を確認し、同意できる場合は[同意]をクリックします。

❺ LPV3マネージャのインストール先を確認し、[次へ]をクリックします。

❻ 「LPV3マネージャのインストールが完了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。
※本製品では、「LPV3ダイレクト接続マネージャ」は使用する必要はありません。

ステップ5 無線プリントサーバを設定しよう

LPV3 マネージャを使って、無線プリントサーバの名前や IP アドレスなどを設定します。

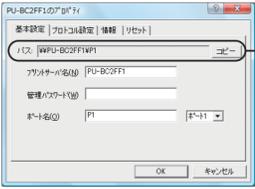
❶ [スタート]－[(すべての) プログラム]－[BUFFALO]－[LPV3 マネージャ]－[LPV3 マネージャ] を選択します。
LPV3 マネージャが起動し、自動的に無線プリントサーバの検索が始まります。

LPV3 マネージャで無線プリントサーバを検出できないときは

- 無線親機と無線プリントサーバのAOSSランプ、WIRELESSランプを確認し、無線接続が完了しているか確認してください。
- ファイアウォール機能が有効になっている常駐ソフト（トレンドマイクロ社ウイルスバスターなど）のファイアウォール機能を一時的に無効※にしてください。

※電子マニュアル「第5章 困ったときは」の「LPV3マネージャで検索しても、本製品が検出されない（TCP/IPプロトコルはインストール済み）」を参照してください。

❷
1 検索された無線プリントサーバを選択します。

2 ログインボタン（ ）をクリックします。

❸
パスを下の枠にメモします。

サーバ名やポート名は変更することもできます。サーバ名やポート名を変更するとパスも変わるため、必ず変更後のパスをメモしてください。

※ 無線プリントサーバにパスワードを設定する場合、パスワードを必ずメモなどに残してください。パスワードを忘れた場合、製品設定の確認および変更ができなくなります。その場合は、無線プリントサーバを初期化する必要があります。

❹
1 [プロトコル設定] をクリックします。

2 [TCP/IP] をクリックします。

3 [プロパティ] をクリックします。

❺
1 無線プリントサーバのIPアドレスを設定します。
DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、「自動設定」のままにします。
特定のIPアドレスに固定する場合は、「手動設定」にして、ネットワーク環境にあわせたIPアドレスとサブネットマスクとゲートウェイを入力します。

2 [OK] をクリックします。

❻ [OK] を数回クリックし、設定画面を終了します。

ステップ 6 へつづく

ステップ6 プリンタの設定をしよう

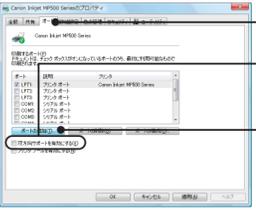
パソコンから印刷できるようにプリンタの設定をします。Windows Vista/XP/2000/NT4.0とWindowsMe/98/95で手順が異なりますので、お使いのパソコンにあわせてお読みください。

Windows Vista/XP/2000/NT4.0 をお使いの場合

❶ プリンタのマニュアルを参照して、プリンタのドライバをインストールします。
ここでは、プリンタがパソコンのプリンタポート（LPT1）に接続されているもの（ローカルプリンタ）として、プリンタドライバをインストールしてください。
また、インストールの途中で「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」などのチェック項目がある場合は、チェックマークを外してください。

❷ Windows Vista の場合は、[スタート]－[コントロール パネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。
Windows XP の場合は、[スタート]－[コントロール パネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]－[プリンタと FAX] の順にクリックします。
Windows 2000/NT4.0 の場合は、[スタート]－[設定]－[プリンタ] を選択します。

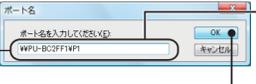
❸
1 インストールしたプリンタを右クリックします。

2 [プロパティ] を選択します。

❹
1 [ポート] をクリックします。

2 [双方向サポートを有効にする] のチェックを外した状態にします。

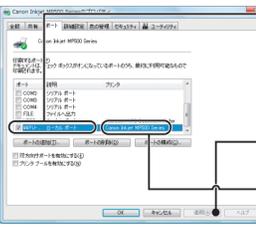
3 [ポートの追加] をクリックします。

❺
1 [Local Port] をクリックします。

2 [新しいポート] をクリックします。

❻
1 「ステップ 5 無線プリントサーバを設定しよう」の手順❸でメモした文字列を入力します。

2 [OK] をクリックします。

メモ
画面に「プリンタに接続できませんでした。」と表示されたときは、入力した内容が間違っています。[OK] をクリックし、文字列を正確に入力し直してください。
正しい文字列を入力しても同じメッセージが表示されるときは、電子マニュアル「第 2 章 Windows で印刷する」－「2.1 LPR プロトコルで印刷する」の方法で設定をやり直してください。

❼ [閉じる] をクリックします。

❽
1 手順❻で入力したポート名が登録され、チェックマークが付いていることを確認します。
Windows NT4.0 の場合は、続いて手順❾に進みます。

2 [適用] をクリックします。

3 「プリンタ」欄にプリンタ名が表示されることを確認します。

❾ [全般] タブをクリックし、[テストページの印刷] をクリックします。
テストページが印刷されたら、印刷に必要な設定はすべて完了です。

WindowsMe/98/95 をお使いの場合

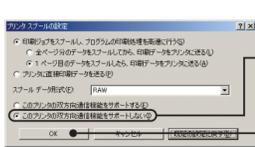
❶ プリンタのマニュアルを参照して、プリンタのドライバをインストールします。
ここでは、プリンタがパソコンのプリンタポート（LPT1）に接続されているもの（ローカルプリンタ）として、プリンタドライバをインストールしてください。

❷ [スタート]－[設定]－[プリンタ] を選択します。

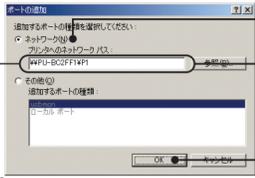
❸
1 インストールしたプリンタを右クリックします。

2 [プロパティ] をクリックします。

❹
1 [詳細] をクリックします。

2 [スプールの設定] をクリックします。

❺
1 [このプリンタの双方向通信機能をサポートしない] を選択します。

2 [OK] をクリックします。

❻
[ポートの追加] をクリックします。

❼
1 [ネットワーク] を選択します。

2 「ステップ 5 無線プリントサーバを設定しよう」の手順❸でメモした文字列を入力します。

3 [OK] をクリックします。

メモ
画面に「有効な印刷先のポートを指定してください。」と表示されたときは、入力した内容が間違っています。[OK] をクリックし、文字列を正確に入力し直してください。
正しい文字列を入力しても同じメッセージが表示されるときは、電子マニュアル「第 2 章 Windows で印刷する」－「2.1 LPR プロトコルで印刷する」の方法で設定をやり直してください。

❽
1 [印刷先のポート] に手順❼で入力した内容が表示されていることを確認します。

2 [適用] をクリックします。

❾ [全般] タブをクリックし、[印字テスト] をクリックします。
テストページが印刷されたら、印刷に必要な設定はすべて完了です。

設定がひととおり終わったら

●各パソコンに必要なこと

ステップ6までの操作を完了すれば、無線プリントサーバを設定した1台のパソコンで印刷できるようになります。ネットワーク上の各パソコンから印刷できるようにするには、各パソコンにプリンタの設定をする必要があります。

ステップ6の手順で、各パソコンにプリンタの設定をしてください（ステップ5以前の操作は必要はありません）。

こんなときは

●Windows で、LPR/NetBEUI/IPP プロトコルを使って印刷したい
⇒電子マニュアルの「第 2 章 Windows で印刷する」を参照してください。

●Macintosh で印刷したい
⇒電子マニュアルの「第 3 章 Macintosh で印刷する」を参照してください。

●UNIX で印刷したい
⇒電子マニュアルの「第 4 章 UNIX で印刷する」を参照してください。

●設定 / 印刷で困った
⇒印刷されない場合は、プリンタの双方向通信機能が無効になっているか確認してください。
双方向通信機能を無効にする方法については、プリンタのマニュアルも参照してください。
⇒電子マニュアルの「第 5 章 困ったときは」を参照してください。

●設定画面の詳細を知りたい
⇒電子マニュアルの「第 6 章 付録」を参照してください。

●印刷するときやプリンタのプロパティを開くときに通信エラーが表示される
⇒使用するプリンタによっては、印刷するときやプリンタのプロパティを開くときに、通信エラーが表示されることがあります。この場合は、[OK] をクリックして、操作を続けてください。印刷上の問題はありません。また、インク残量などを通知するプリンタ付属のユーティリティを無効にすることで、通信エラーが表示されなくなる場合があります。

●設定内容を初期化したい
⇒本製品のINIT(出荷時設定)スイッチを３秒以上押して、初期化してください。
INITスイッチの場所は、P.4「各部の名称とはたらき」をご参照ください。
※3秒以内にスイッチを離すと、本製品は再起動します。その場合、初期化はされません。

●プリントサーバに設定したパスワードを忘れてしまった
⇒本製品のINIT（出荷時設定）スイッチを3秒以上押して、初期化してください。
INITスイッチの場所は、P.4「各部の名称とはたらき」をご参照ください。
初期化した後は、再度本製品を設定してください。
※3秒以内にスイッチを離すと、本製品は再起動します。その場合、初期化はされません。
※パスワードを設定する場合は、パスワードを忘れないように必ずパスワードの控えを安全な場所に保管してください。

電子マニュアルの読み方

Windows をお使いの場合

❶ CD-ROM「LPV3 シリーズユーティリティ CD」をパソコンにセットします。
※Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[LAUNCHER.exeの実行]をクリックしてください。
また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックしてください。

❷ [マニュアルを見る] を選択し、[実行] を選択します。

❸ 「無線プリントサーバ（LPV3-U2-G54）」を選択し、[OK] をクリックします。

❹ 「LPV3-U2-G54 ユーザーズマニュアル」を選択し、[OK] をクリックします。

Macintosh をお使いの場合

❶ CD-ROM「LPV3 シリーズユーティリティ CD」をパソコンにセットします。

❷ デスクトップに表示された CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

❸ [Manual] フォルダをダブルクリックします。

❹ [LPV3-U2-G54] フォルダをダブルクリックします。

❺ 「lpv3u2g54.pdf」をダブルクリックします。